

一般社団法人福祉人財協会

活動紹介

早いもので、当協会も設立から4年目に入っています。会員の皆様のご協力があってこそその安定運営であると、感謝しております。

そこで、この度はこれまでの活動をご紹介させていただきたいと思います。

2018年～2021年

2018年8月	合同求人広告の折込みと医療介護の就職相談・説明会開催
9月	報酬改定セミナー開催（改定後の影響と今後の動向）
10月	住まい・介護・医療展 in 関西にて人材定着についての講演 エマジェネティックスセミナー開催（コミュニケーション能力） 看護職員充足セミナー開催（長期充足の実例紹介）
12月	宮城県の事業「次世代介護経営塾」、人材採用定着・業務改善について講演
2019年1月	合同求人広告の折込みと医療介護の就職相談・説明会開催
3月	モニタリング事業、介護のお仕事入門研修開催
4月	外国人技能実習制度セミナー開催 合同求人広告の折込みと医療介護の就職相談・説明会開催
5月	モニタリング事業、介護のお仕事入門研修開催 ケアマネジメント研修開講（茨木会場、全13回）
2020年1月	ケアマネジメントセミナー開催（東淀川会場） 合同求人広告の折込みと医療介護の就職相談・説明会開催
2月	介護施設の選び方セミナー開催（東淀川会場）
3月	モニタリング事業、介護のお仕事入門研修開催
11月	通所事業所運営セミナー開催（茨木会場）
2021年1月	カイポケ人材定着リモートセミナー登壇（全国配信）
11月	合同求人広告の折込みと医療介護の就職相談・説明会開催

【医療介護の就職相談・説明会】

多い時は30名弱の来場があり、9名を採用することが出来ました。異なる法人・事業所が協力して取り組むところに意義があります。単独でできないことも協力すれば可能となります。

相談コーナーにも毎回いろいろな相談が寄せられます。ブランクの心配や未経験での不安などです。その相談から安心することができ、そのままブースを訪問され、採用に結びついた例もあります。



【宮城県事業 次世代介護経営塾】

宮城県では、県が予算を組み、介護事業所の安定経営を支援しています。東京のコンサルティング会社が当協会の人材定着のノウハウを宮城県にプレゼンしたところ、20名を超える塾生と県職員さんが2時間の講義を聴くためにわざわざ来られました。

熱心に受講され、質問を次々とされていました。旅費と宿泊費は塾生の負担だそうで、それでも来られたくらいですから、本気度が違います。さっそく施設に取り入れましたというご連絡もいただいております。



【住まい・介護・医療展 in 関西】

介護事業所の人材不足が深刻であることを改めて認識しました。この日に開催されたセミナーは、様々なタイトルで10講義ありましたが、会場100席の内聴講者は、20～40名程度でした。しかし、当協会担当の人材定着セミナーは、100席が満席で立ち見の方もいらっしゃいました。

質問もあり、熱心にメモを取られていました。

介護外国人技能実習生 受入法人の役割と責任



離職率を63%から3%に。
施設長が徹底した「たった一つの基本」とは？
一般社団法人福祉人材協会 荒谷辰浩代表理事

高齢者住宅入居営業を必ず成功に導くために抑えておきたいポイント

【モニタリング事業】

モニタリング事業 アルバイト・パート募集

給料をもらいながら
学んで、体験！

①介護のお仕事

介護事業所の仕事を知らない方が仕事を知り、理解した時の印象・感想を調査するための事業です。

応募資格

介護事業所での勤務経験が無い方。

仕事内容

10時間の座学で介護事業所の仕事を知っていただきます。
3日間の現場実習に参加していただきます。(15時間)
レポートを提出していただきます。(2時間)

給与

時給1,000円

②訪問介護のお仕事

訪問介護の仕事を知らない方が仕事を知り、理解した時の印象・感想を調査するための事業です。

応募資格

初任者研修(ヘルパー2級)以上

仕事内容

10時間の座学で訪問介護の仕事を知っていただきます。
3日間の現場実習に参加していただきます。(15時間)
レポートを提出していただきます。(2時間)

給与

時給1,000円

4月17日(水) 医療介護の就職相談・説明会にて相談コーナーを設けております。

初めての取組です。介護の無資格・未経験者に給与を支払って、研修を受けていただき、事業所へ実習に行ってもらいます。もし、実習先で働こうかなと思った場合は、そのまま就職していただきます。

今回は、2名のモニターが研修を受講され、2名とも就職する予定となりました。

【ケアマネジメント研修】

主として経験3年未満の介護支援専門員を受講対象としています。

講師は10名のベテランケアマネが担当しています。

1	ケアマネの1カ月、1日
2	通所サービス事業所の選び方
3	多職種連携
4	ケアマネジャーと保険者
5	利用者コミュニケーション
6	ケアプラン点検表の解説
7	対人援助の基礎とコツ 知っておくと便利な事
8	モニタリング5つの視点
9	P D C A サイクルに乗せるためのアセスメント
10	ターミナル期のサービス調整
11	ここでござらいケアプラン 先輩ケアマネからのアドバイス
12	4大認知症と統合失調症
13	ケアマネジメント力を高めよう ノンテクニカルスキル ケアマネに役立つ終活講座

【会員間連携】

会員事業所が連携して人材不足を乗り越える等の活動を行っています。

ケース1	常勤2名及び非常勤3名の一斉退職があった事業所に会員事業所から出向による人材の補充を行い、経営に支障が出ることなく運営を続けることができました。その後、職員の採用が進み、出向を終了させました。
ケース2	常勤9名の内、6名の一斉退職を会員事業所から出向による人材の補充を行い、乗り越えました。その後、職員の採用が進み、出向を終了させました。
ケース3	事業拡大を行っている事業所に計9名の職員を紹介により補充しました。その後、順調に事業を拡大し、安定経営を行っています。
ケース4	地域を限定し、様々な事業所が連携し、ライフケアネットワークを形成しました。質の高いサービスの提供と安全安心な暮らしを提供しています。
ケース5	実地指導の内容を会員間で共有し、自事業所の実地指導に活用しています。また、会員間で自己点検シートを用いた模擬実地指導を行いました。
ケース6	新規開設事業所が会員の様々な協力で早期安定経営を実現しました。その後も安定経営を継続し、事業拡大中です。
ケース7	新型コロナウイルスの影響でマスクが品薄となった時季に会員間の情報共有で必要数のマスクを入手することができました。 また、感染者や濃厚接触者が発生した事業所の体験を早期に情報共有し、その後の対応に活用しました。

上記以外にも多数のケースがありましたが、会員間の連携により単独の事業所では出来ないことも実現できることがわかりました。